

常任委員会視察報告

総務委員会

(10月23日～24日)

文教福祉委員会

(10月21日～22日)

「岡山県倉敷市のファシリティマネジメント(公共施設の保全・整備)」

「岡山県備前市のまちづくり基本条例」

倉敷市におけるファシリティマネジメントの特徴は、他の先進市は公共施設マネジメント計画等の方針を作成していますが、倉敷市はそういった計画は作成せず、トップダウンではなく、ボトムアップでできることを実行してきたところにあります。

平成19年に民間企業経験者枠で認定ファシリティマネジャーが採用され、23年に長期修繕計画室が新設され、現在8名で組織されています。施設の修繕が確かな工法で行われているかどうかを判断する場合、専門的知識が必要となつてきますが、財政課とまったく切り離し、一定額の予算の中、長期修繕計画室が修繕の決定から執行まで全て行っている点は参考となりました。

備前市では、まちづくり基本条例について視察しました。

本市の自治基本条例は策定委員全てが公募でしたが、備前市では4分の3の委員が各種団体の代表でした。市が、資料を提供する等作成段階で本市よりも積極的に作成に関わっているように見受けられました。今後、新たな事業で市民委員を選定する場合等の参考となりました。



「長野県千曲市の健康寿命延伸施策事業」

「長野県岡谷市の第2次健康増進計画」

長野県千曲市では、生活習慣病の発病予防と重症化予防を一体的に取り組んでいます。健康づくりを推進するための計画としている「健康アップ千曲21」については、概要版の啓発資料を全世帯に配布しており、10年計画で達成すべき世代ごとに達成目標を明確化しています。トータルで27項目の目標をもつて取り組み、特に11項目については、統計的に分析し、進捗を確認しています。

また、課題をもって生活ができるよう市民に健康診断の受診を勧め、医療費、介護給付費を数的に明らかにし、課題に進んで取り組めるよう啓発しており、市が市民の健康づくりを推進する明確な姿勢が参考となりました。

長野県岡谷市は、市民の健康づくりを推進するため、平成16年から「岡谷

市健康増進計画」を進めていき、これまでの取り組みの進捗状況や課題を整理し、次へのステップとして、「第2次岡谷市健康増進計画」を策定し進めています。岡谷市健康づくり推進協議会を主体として、地域で活動する団体等との連携を強化しており、健康づくりの主体となる個人や家庭、団体、行政が協働で行う健康づくりが参考となりました。

